



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年7月9日

上場会社名 北雄ラッキー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2747 URL <https://www.hokuyu-lucky.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桐生 宇優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 鴫澤 賢治 TEL 011-558-7000
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	9,567	5.1	104	47.3	112	45.5	69	49.9
2021年2月期第1四半期	10,076	2.1	198	138.1	205	139.8	138	182.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	54.69	
2021年2月期第1四半期	109.21	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	18,562	5,070	27.3	4,011.38
2021年2月期	18,170	5,065	27.9	4,007.34

(参考)自己資本 2022年2月期第1四半期 5,070百万円 2021年2月期 5,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		50.00	50.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,720	2.2	235	32.3	245	32.0	150	37.7	118.68
通期	39,200	1.4	405	12.4	420	12.1	260	34.9	205.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	1,264,640 株	2021年2月期	1,264,640 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	688 株	2021年2月期	688 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	1,263,952 株	2021年2月期1Q	1,264,030 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績の状況

当第1四半期累計期間(2021年3月1日～2021年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化により、依然として厳しい状況にあります。先行きにつきましては、ワクチン接種の普及、各種政策の効果や海外経済の改善もあって持ち直しが期待されるものの、変異株ウイルスの流行や医療体制の逼迫により緊急事態宣言が再発令されるなど、未だに収束時期は不透明であり、内外の感染拡大による経済下振れリスクが懸念される状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、少子高齢化による消費・生産人口の減少、コロナ禍による消費者の購買行動の変化や働き方の変化、節約志向の高まり、オーバーストア・業種業態を超えた競争の激化など、業界を取り巻く環境は大きく変化しており、予断を許さない状況が続くと思われまます。

当社はこのような厳しい経営環境の認識のもと、地域顧客のライフラインとしての役割を担いつつ、「商品力」、「販売力」及び「マーケティング力」の強化に最大限傾注することにより、更なる成長を実現すべく経営基盤の強化に努めております。

当事業年度におきましては、顧客及び従業員の安全・安心確保を最優先とするコロナ禍対処の継続に加えて、社会構造の変化や生活様式の変化により多様化する顧客ニーズに的確に対応するため、以下の重点項目の取り組みにより、事業の継続性・安定性・収益性・成長性の確保を目指しております。

- ・新デリカセンターの稼働に伴う収益力向上の基盤づくり
- ・競合他社との優位性を図るための商品力強化(6MDの深耕)
- ・来店頻度向上を目的とする販売力の強化
- ・マーケティング力の強化によるストア・ロイヤリティの向上とファミリー顧客層の拡大
- ・ローコスト運営の徹底と業務効率の改善
- ・財務体質の強化

とりわけ、営業面での最重要取り組みは、センター機能の再構築による生産性向上と商品力強化を目的として、新デリカセンター(2021年11月予定)を小樽市銭函の既存デリカセンターと同一敷地内に建設中であります。新デリカセンターの稼働により、サラダ・生野菜商品などの品揃え拡充を図るとともに、簡便・個食向け商品や付加価値商品の開発に取組み、商品内製化による収益力向上に向けた体制整備を進めてまいります。

また、商品面では、お客様にとってより良い食生活の実現を願って作られた6MDの商品コンセプトに基づき、顧客の食生活を応援していく方向性を徹底し、6MDの深耕化により競合との優位性を図り、差別化商品の開発、競争力の向上に努めております。

当第1四半期累計期間におきましては、不要不急の外出自粛要請が常態化しており、巣ごもり消費・内食需要は継続しているものの、顧客来店頻度の回復には時間を要する状況であります。そのため、ID-POSデータ活用による高併売率商品の拡充、コジカカードと連動した販促提案、バック単価の適正化などに取組み、一人当たり買上点数増及び来店頻度向上による売上確保に努めてまいりました。しかし、前年の非常事態宣言発令や小中学校休校による需要増の反動に加えて、外出自粛による客数の減少及び低価格志向の強まりによる客単価の伸び悩みが重なり、売上高は前年同期を下回り減収となっております。

経費管理面におきましては、一部衛生関連用品の値上げによる消耗品の増加はあったものの、人件費の減少、LED照明等の節電効果及び電力契約見直しによる水道光熱費の削減もあり、販売費及び一般管理費は前年同期比98.6%となり計画数値を下回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高95億67百万円(前年同期比5.1%減)、経常利益1億12百万円(同45.5%減)、四半期純利益69百万円(同49.9%減)となりました。

当第1四半期累計期間における店舗の状況は、新設・閉鎖店舗及び改装店舗は無く、2021年5月31日現在の店舗数は、34店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して3億92百万円増加し185億62百万円となりました。

その主な要因は、未収入金の減少が1億38百万円であったものの、売掛金の増加が2億37百万円、デリカセンターの新設等による建設仮勘定の増加が2億50百万円であったことなどによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して3億86百万円増加し134億92百万円となりました。

その主な要因は、1年内償還予定の社債の減少が3億円、短期借入金の減少が2億円、未払金の減少が2億50百万円であったものの、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加が7億91百万円、預り金の増加が1億46百万円、賞与引当金の増加が1億12百万円であったことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して5百万円増加し50億70百万円となりました。

その主な要因は、株主配当金63百万円の支払いがあったものの、四半期純利益69百万円の計上により、利益剰余金が5百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月9日の「2021年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,057,253	2,030,461
売掛金	834,501	1,072,183
商品及び製品	1,464,357	1,576,213
原材料及び貯蔵品	60,118	52,159
前払費用	95,730	106,190
未収入金	466,017	327,851
その他	13,707	12,494
貸倒引当金	△267	△267
流動資産合計	4,991,418	5,177,285
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,435,733	10,436,643
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,020,639	△7,075,806
建物(純額)	3,415,094	3,360,837
構築物	691,589	691,589
減価償却累計額及び減損損失累計額	△585,123	△589,794
構築物(純額)	106,465	101,794
機械及び装置	610	610
減価償却累計額	△530	△540
機械及び装置(純額)	79	69
車両運搬具	7,522	7,522
減価償却累計額	△7,177	△7,220
車両運搬具(純額)	345	302
工具、器具及び備品	509,560	504,580
減価償却累計額及び減損損失累計額	△475,108	△469,967
工具、器具及び備品(純額)	34,451	34,613
土地	6,943,376	6,943,376
リース資産	1,030,282	1,003,624
減価償却累計額及び減損損失累計額	△866,799	△848,308
リース資産(純額)	163,483	155,315
建設仮勘定	44,062	294,257
有形固定資産合計	10,707,359	10,890,566
無形固定資産		
ソフトウェア	86,672	87,286
電話加入権	18,228	18,228
無形固定資産合計	104,901	105,515
投資その他の資産		
投資有価証券	190,798	189,430
出資金	479	479
長期前払費用	76,933	74,164
繰延税金資産	443,483	472,702
差入保証金	1,654,059	1,651,551
投資その他の資産合計	2,365,755	2,388,329
固定資産合計	13,178,015	13,384,412

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
繰延資産		
社債発行費	1,147	966
繰延資産合計	1,147	966
資産合計	18,170,581	18,562,664
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,867,084	2,837,830
1年内償還予定の社債	300,000	—
短期借入金	3,850,000	3,650,000
1年内返済予定の長期借入金	1,130,348	1,198,114
リース債務	112,830	110,079
未払金	524,205	273,620
未払費用	288,286	332,737
未払法人税等	71,157	77,176
未払消費税等	29,821	109,602
前受金	19,126	21,051
預り金	549,532	696,270
賞与引当金	120,842	233,772
ポイント引当金	31,461	31,157
流動負債合計	9,894,695	9,571,413
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,466,558	2,190,159
リース債務	150,675	143,062
退職給付引当金	875,334	872,384
長期預り保証金	277,203	275,459
資産除去債務	63,255	63,473
長期未払金	77,774	76,520
固定負債合計	3,210,802	3,921,060
負債合計	13,105,497	13,492,473

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	641,808	641,808
資本剰余金		
資本準備金	161,000	161,000
その他資本剰余金	190,215	190,215
資本剰余金合計	351,215	351,215
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	2,465,000	2,465,000
繰越利益剰余金	1,588,807	1,594,740
利益剰余金合計	4,053,807	4,059,740
自己株式	△1,939	△1,939
株主資本合計	5,044,891	5,050,824
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,192	19,366
評価・換算差額等合計	20,192	19,366
純資産合計	5,065,084	5,070,191
負債純資産合計	18,170,581	18,562,664

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	10,076,370	9,567,258
売上原価	7,513,052	7,123,921
売上総利益	2,563,317	2,443,337
営業収入		
不動産賃貸収入	67,903	66,718
運送収入	224,959	214,568
営業収入合計	292,862	281,286
営業総利益	2,856,180	2,724,623
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	86,010	83,135
配送費	197,404	197,262
販売手数料	132,771	137,919
給料及び手当	472,736	471,596
賞与引当金繰入額	101,425	112,930
退職給付費用	26,125	25,283
雑給	626,580	615,907
水道光熱費	199,953	177,126
減価償却費	98,370	92,100
地代家賃	216,899	214,843
その他	499,236	491,744
販売費及び一般管理費合計	2,657,514	2,619,848
営業利益	198,665	104,775
営業外収益		
受取利息	2,106	1,814
受取配当金	4,457	4,352
受取事務手数料	3,416	3,425
助成金収入	1,050	1,427
雑収入	5,458	3,588
営業外収益合計	16,488	14,607
営業外費用		
支払利息	7,516	6,264
社債発行費償却	963	181
雑損失	898	785
営業外費用合計	9,378	7,230
経常利益	205,775	112,151
特別損失		
減損損失	3,120	9,824
固定資産除売却損	1,119	13
特別損失合計	4,239	9,838
税引前四半期純利益	201,536	102,313
法人税、住民税及び事業税	75,394	61,868
法人税等調整額	△11,899	△28,677
法人税等合計	63,494	33,190
四半期純利益	138,041	69,122

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。